

2 ご両親の願い

事故調査委員会は、第1回事故調査委員会が開始される直前に時間を設け、委員の紹介とご両親からの意見をいただく場を設けた。その場で、ご両親は、次のような願いを事故調査委員会に託された。

- ・本件事故の明らかになっていない部分を明らかにし、原因を究明してほしい。
- ・調査の過程で見えてくることもあるだろう。明確にしていきたい。
- ・学校で二度と事故のないように、そのような会であってほしい。

そして、調査していただきたい内容としては、具体的には以下の7項目をあげられた。

- ①事故の直接の原因。当日の経過及び発生状況。
- ②事故の背景的要因。事故に至るまでの事実経過。学校入学以降の郁香さんに対する食事指導の計画及び、それをどのように実行してきたか。給食時の見守りの体制や実態について。
- ③学校が知的障害児の食事支援をするにあたって、摂食の専門家の指導を受けたり、研修を行うなどの体制をとっていたのか。
- ④①～③の調査結果を踏まえて、今回の事故はなぜ起こったのか。
- ⑤事故前後の対応について、3月の事故（平成28年3月 郁香さんは校外学習において膝の怪我を負い、平成28年5月～8月 病院Zにて手術治療を行った。）後の対応を含めて、学校、教育委員会の事故前後の対応、また、文部科学省の通知について徹底できていなかったことについて。
- ⑥事故後の救命措置や適切な通報が行われなかったことについて。
- ⑦①～⑥の調査結果を踏まえて、今後の再発防止のための対策と取り組みについて。

また、ご両親は他県での事故調査委員会の報告書資料を持参し、参考としてほしい旨も告げられた。特に、母親からは、郁香さんの小さい頃からのほほえましい写真、郁香さんの日頃の様子と母親の今の思いが綴られた文章も手渡された。その中に、母親は次のように綴っていた。

なぜ郁香はわずか17歳で逝かなければならなかったのでしょうか。

なぜ担任は誰にも声をかけずに郁香から目を離したのでしょうか。

なぜ倒れた後に何一つ救命措置をしてくれなかったのでしょうか。

郁香が大好きだった学校や先生は、なぜ必死で郁香を助けようとしてくれなかったのでしょうか。（原文のまま記載）

事故調査委員会は、ご両親の願いにできる限り応えるよう努めると答え調査を開始した。